



横須賀市議会議員

大野 忠之

教育福祉常任委員会 副委員長

予算決算常任委員会（教育福祉分科会）

農業委員会

市政報告 第04号（平成24年08月）

「ありがとうよこすか」

大野忠之事務所

〒238-0024 横須賀市大矢部 3-1-3

TEL : 046-838-6571 FAX : 046-838-6573

URL : <http://www.ohno-tadayuki.com>

夏本番を迎え、皆様はお元気でお過ごしでしょうか？

早いもので私、大野忠之が横須賀市議会議員となり、1年が経過いたしました。この間、1年生議員として様々な勉強をさせていただき、非常に充実した時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

まだまだ非力ではございますが、これから少しずつでも皆様にお返しできるように、精一杯、行政の場で頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きご支援をいただけるようお願い申し上げます。

【第1回例会（2月16日～3月37日）について】

初日に市長から平成24年度の市政方針が語られました。予算編成方針では、「限られた財源を基本計画に位置づけられた重点プログラムに『重点投資』すること、『財政規律』の堅持」の2点を基本方針として編成したとし、特に、東日本大震災の教訓を踏まえた防災体制の強化、集客・定住促進などのシティセールスをさらに進め地域経済の活性化を図る、「ぬくもり」や「あたたかみ」のある地域社会を目指して医療、子育て、福祉、教育の分野を充実させることを基本として関連する事業に重点的に財源を配分。

さらに、職員定数の削減や、民間委託を推進することにより、歳出額の削減を図り、財政調整基金等の基金残高の確保、市債残高の削減、新規債発行比率、市税徴収率など財政基本計画に掲げた平成24年度の数値目標をすべて達成した上で予算を編成したと説明。

その結果、24年度の一般会計、特別会計、企業会計の予算総額は、**2,861億600万円**。このうち一般会計の予算額は**1,407億8千万円**で、前年度比**35億3千万円**（2.4%）の減となっています。予算減額の主な要因として、「子ども手当」の制度改正による扶助費および子育て支援基金積立金の減**31億円**、諏訪小学校建替工事費の減**10億円**、人件費の減**6億円**などとしています。一方、生活保護をはじめとする社会保障費は**12億円**、防災機能を強化するための経費は**3億円**の増加。また、一般会計の歳入の財源不足額を補てんするための財政調整基金などの取り崩し額は、**46億7千万円**としています。

また、水道事業および下水道事業において、**6,444万円**の予算で市と民間が共同出資する「(仮称)株式会社よこすかウォーターサービス」を設立し、新たなビジネスモデルを展開することを発表。走水水源地の湧水のブランド化や日本初となる給排水装置のアセットマネジメントを実施し、今まで市では十分に対応できなかった個人財産部分の給排水設備の修理工事を可能とするほか、漏水調査、料金や水まわりのトラブルに関する問い合わせにワンストップで対応することにより、サービスの拡大に努めていくという説明がありました。

私の所属する教育福祉常任委員会に付託された議案は以下のとおりです。

1. 保健医療対策協議会条例制定について
2. 感染症対策委員会条例制定について
3. 市立高等学校及び市立幼稚園の教育並びに市立中学校の任期付教育職員の給与等に関する条例中改正について

このうち3.については、総括教諭の配置人数と設置目的、教員が公務運転時に事故があった場合の対応についてのものです。

3件すべて委員会・本会議とも全会一致で原案どおり可決しました。

また、「横須賀市市民放射能簡易測定所の設置について」の請願1件についても審査。簡易測定器およびゲルマニウム半導体検出器の価格、県内の公設測定施設数、民間が測定を行う場合の行政のサポート方法等について、関係理事者から所見を聴取し、質疑を行った結果、コスト面、および機能的な面から見ても現状では難しいという結論の中、賛成少数で不採択が決定。本会議でも不採択となりました。